

植物食恐竜の進化

矛や盾、鎧の獲得。

武装化が進んだ植物食恐竜。

「アンキロサウルスのハンマー」

背中の装甲と並ぶ金鎧類の武装がアンキロサウルスなどの尾の先端についている。その役割は襲撃者を打ち握るためのハンマーとの説がある。一方で、攻撃に使えるほど強度がなかったとの説もある。



「トリケラトプスの角」

ティラノサウルスと対峙し、角で威嚇する復元図が描かれることが多いトリケラトプス。しかし、実際トリケラトプスの角は攻撃された痕跡亦があるティラノサウルスの化石は見つかっていない。



「パキケファロサウルス」



解説

頭骨がヘルメットのように盛り上がり、骨の厚みが最大25cmに達するパキケファロサウルス。その特異な姿から頭と頭をぶ

つけ合う「頭突き」の再現図が多く描かれてきたが、スネが本当に可能だったのかは議論が続いている。頭突きをするとも脳を傷めしてしまう可能性もあった。